

令和 3 年度 県民芸術劇場 富津公演

千葉交響楽団 バレンタインコンサート

指揮 山下一史



〔曲目〕・チャイコフスキー 弦楽セレナード ハ長調 作品 48
・エルガー 愛のあいさつ
・モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク第一楽章
・シューベルト アヴェ・マリア
・ドビュッシー 亜麻色の髪乙女
・アンダーソン プリンク・プレルク・プランク
・久石譲 君をのせて（天空の城ラピュタ）
・ピアソラ リベルタンゴ

特別出演

魅惑のハーモニカ演奏

田邊 峯光



〔曲目〕・矢切の渡し・長良川艶歌・荒城の月幻想曲 他



令和 4 年

2月13日(日)

開場13:00 開演13:30

富津公民館

富津市新井 932-34 ☎0439-87-8381

主催：富津市

共催：千葉県

主管：富津市民文化事業

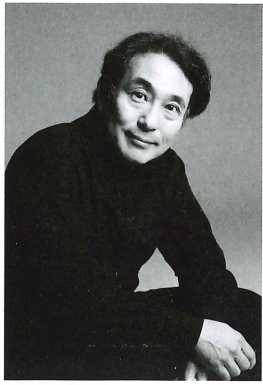
「ふつつ学びの門」実行委員会

問い合わせ先／富津市民会館 ☎0439(67)3112

チケット情報

- 料 金 全席指定
一 般／2,500 円
高校生以下／1,000 円
 - 販売開始 12 月 1 日（水）9：00 ～
 - 販売窓口 富津市民会館、中央公民館
富津公民館、
富津市役所生涯学習課
- ※ 1 月 4 日以降は、富津市民会館のみ
販売継続

Profile



山下一史 千葉交響楽団音楽監督

1977 年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、(故) 森正の各氏に師事。1982 年「第 17 回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

1985 年 12 月からカラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントを務め、1986 年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急病のカラヤンの代役として、急遽ジーンズ姿のまま「第 9」を指揮、話題となる。その成功以来、ザルツブルク・フィングステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約。以後着実にヨーロッパでの実績を重ね、ヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では 1988 年「若い芽のコンサート」で NHK 交響楽団を指揮してデビュー。オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者（現在同団名誉指揮者）などを歴任。

2006 年 4 月から仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、CD 制作も行うなど積極的な活動を展開。2009 年 4 月から 2012 年 3 月まで正指揮者を務めた。

また、2011 年 2 月にはシューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013 年 1 月、2016 年 3 月には水野修孝 歌劇「天守物語」など現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。

2016 年 4 月より千葉交響楽団（旧ニューフィル千葉）音楽監督に就任。

「おらがまちのオーケストラ」をスローガンに、定期公演のみならず、音楽教室にも積極的に出演、千葉県民に愛されるオーケストラを目指し、オーケストラの一層の発展に努めている。

東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも心血を注ぐ。



魅惑のハーモニカ演奏

田邊 峯光



1954 年生まれ。鳥取県米子市出身。

複音ハーモニカを故・佐藤秀廊氏に師事。

複音ハーモニカ奏者、コード・ハーモニカ奏者として全国的に演奏活動を展開している。また、講師としてもカルチャーセンター等で指導にあたっている。

トリオここみか、モダン演歌カルテット (MEQ)、クラインガルテン、ハーモニカ・ライナーズ、それぞれのバンドのコード・ハーモニカ奏者である。

千葉交響楽団

千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の 31 年間の活動を引き継ぎ、2016 年 10 月に千葉交響楽団と改称した。

定期演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ 20 回のコンサートを行い、千葉県の音楽文化の向上に努めている。また、次代を担う子どもたちに向けては、千葉県及び各市町村教育委員会の共催事業である「小中高等学校音楽鑑賞教室」を毎年 50 校ほど実施するとともに、幼稚園や特別支援学校への訪問演奏や各種室内楽など、年間あわせておよそ 150 回のコンサートを行って、音楽の素晴らしさを伝え続けている。

2016 年 4 月に音楽監督として山下一史氏を招聘し新たな挑戦を始め、新鮮で熱気あふれる演奏は、多くの千葉県民の皆様から支持を得ており、「おらがまちのオーケストラ」と親しまれ、愛されるオーケストラとしての地位を着実に築いている。